

# ネオセンサ™

## 室内用湿度センサ 形HY7045 室内用温湿度センサ 形HTY7045

### ■ 概 要

ネオセンサは、電子式の室内用センサです。室内の壁面に取り付けて、温度・相対湿度を測定します。

湿度センサ（形番HY7045T1000）・温湿度センサ（形番HTY7045T1100・形番HTY7045T1P00）があります。

ネオセンサは、温度検出素子にPt100を使用し、湿度検出素子に高分子容量式湿度検出素子 FP5（エフピーファイブ）\*を使用した高精度高信頼度なセンサです。

幅広い計測範囲と優れた安定性により、一般ビル空調をはじめ、いろいろな室内用途に応用できます。

\* 弊社開発素子



### ■ 特 長

- 広範囲にわたり精度のよい温湿度計測ができます。
- 長期安定性に優れています。
- 耐環境性に優れています。
- 応答性・再現性に優れています。
- 小型（薄型）・軽量です。

**重要 !!** ● 本製品の検出精度は、出荷時の値です。通常の空気で使用していても、使用環境により出力がシフトするおそれがあります。定期的に点検することをお勧めします。

● 腐食性ガスや有機溶剤などが、湿度出力のシフトや湿度検出素子の故障の原因になることがあります。本製品を通常の空気と異なる環境で使用する場合は、弊社担当者にご相談ください。

## 安全上の注意

ご使用前に本説明書をよくお読みのうえ、仕様範囲内で使用目的を守って、正しくお使いください。お読みになったあとは、本説明書をいつでも見られる所に必ず保管し、必要に応じ再読してください。

### 使用上の制限、お願い

本製品は、一般機器での使用を前提に、開発・設計・製造されています。

本製品の働きが直接人命にかかわる用途および、原子力用途における放射線管理区域内では、使用しないでください。一般空調制御用として本製品を放射線管理区域で使用する場合は、弊社担当者にお問い合わせください。

特に ・人体保護を目的とした安全装置 ・輸送機器の直接制御(走行停止など) ・航空機 ・宇宙機器 など、安全性が必要とされる用途に使用する場合は、フェールセーフ設計、冗長設計および定期点検の実施など、システム・機器全体の安全に配慮した上で、ご使用ください。

システム設計・アプリケーション設計・使用方法・用途などについては、弊社担当者にお問い合わせください。

なお、お客様が運用された結果につきましては、責任を負いかねる場合がございますので、ご了承ください。

### ■ 設計推奨使用期間について

本製品については、設計推奨使用期間を超えない範囲でのご使用をお勧めします。

設計推奨使用期間とは、設計上お客様が安心して製品をご使用いただける期間を示すものです。

この期間を超えると、部品類の経年劣化などから製品故障の発生率が高まることが予想されます。

設計推奨使用期間は、弊社にて、使用環境・使用条件・使用頻度について標準的な数値などを基礎に、加速試験、耐久試験などの科学的見地から行われる試験を行って算定された数値に基き、経年劣化による機能上支障が生ずるおそれが著しく少ないことを確認した時期までの期間です。

本製品の設計推奨使用期間は、8年です。

なお、設計推奨使用期間は、寿命部品の交換など、定められた保守が適切に行われていることを前提としています。

製品の保守に関しては、『■ 保守』を参照してください。

### ■ 「警告」と「注意」



**警告**

取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険の状態が生じることが想定される場合。



**注意**

取り扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負う危険の状態が生じることが想定される場合。

### ■ 絵表示



記号は、危険の発生を回避するために特定の行為を禁止する場合に表示(左図は分解禁止の例)。



記号は、危険の発生を回避するために特定の行為を義務付けする場合に表示(左図は一般指示の例)。

### ⚠ 注意



雷対策は、地域性や建物の構造などを考慮し、実施してください。対策しないと、落雷時に火災や故障のおそれがあります。



本製品の給電元にヒューズ、遮断器などの保護装置をつけてください。短絡して火災や故障のおそれがあります。



本製品は、本説明書に記載された仕様範囲内で取り付け・結線し、運用してください。火災や故障のおそれがあります。



取り付け・結線・保守作業は、計装工事、電気工事などの専門の技術を有する人が行ってください。施工を誤ると、火災や感電のおそれがあります。



結線・保守作業は、本製品への電源を切った状態で行ってください。感電や故障のおそれがあります。



配線については、電気設備技術基準、内線規程などに従って施工してください。施工を誤ると、火災のおそれがあります。



電線の末端は、絶縁被覆付き圧着端子を使用してください。絶縁被覆がないと、短絡して火災や故障のおそれがあります。



結線・保守作業後は、カバーを元に戻してください。カバーをしないと、感電のおそれがあります。

**重要 !!** ・本製品の近くでトランシーバや特定小電力無線機を使用しないでください。

## ■ 形 番

### ● 室内用湿度センサ

形 番	形 状	電 源	湿度出力	温度出力	出力線	社名ロゴ
HY7045T1000	ネオセンサ	AC/DC24V 共用	1~5V	-	リード線出力	あり
HY7045T1000-1						なし

### ● 室内用温湿度センサ

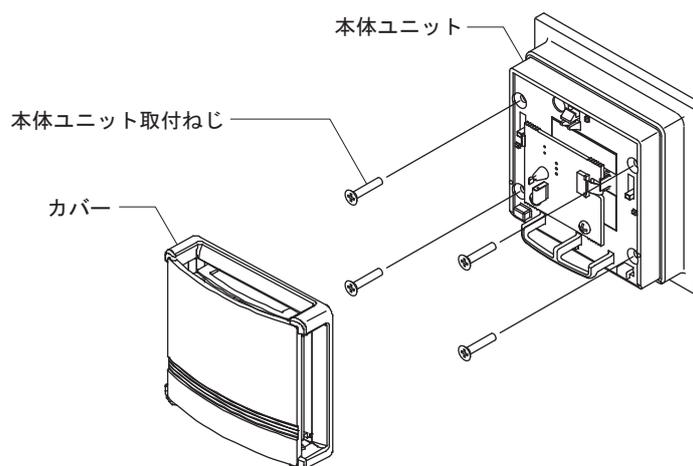
形 番	形 状	電 源	湿度出力	温度出力	出力線	社名ロゴ
HTY7045T1100	ネオセンサ	AC/DC24V 共用	1~5V	1~5V	リード線出力	あり
HTY7045T1100-1						なし
HTY7045T1P00				抵抗 (Pt100)		あり
HTY7045T1P00-1						なし

### 《同梱品》

ネオセンサは、カバーと本体ユニットから構成されています。

ネオセンサは、次のものを同梱しています。

- 本体ユニット取付ねじ (M3 皿小ねじ L=16mm) 4本
- AI-7545JE ネオセンサ 室内用湿度センサ 形HY7045 室内用温湿度センサ 形HTY7045 取扱説明書 設置編 1冊



## ● 別途手配品

ネオセンサは、別途手配品の専用取付キットや補助機器などと組み合わせて使用します。

## 《専用取付キット》

形番	名称	構成内容	
83165803-001	壁直接取付キット		壁直接取付キット本体：1個 取付プレート：1個 付属ねじ M4 ねべ小ねじ L=8：2個 M3 皿小ねじ L=16：1個
83165803-011	サーモプレート取付キット		サーマプレート取付キット本体：1個 付属ねじ M2.6 タッピングねじ L=8：2個
83165803-021	マルチサーモケース取付キット		取付ねじは、マルチサーモケース（別途手配品）に、付属しています。

## 《補助機器》

形番	名称	備考
QY1100C	個室制御用サーモプレート	ロータリースイッチ切替
QY1100D		
DY2000A1022	サーモプレート	1個用縦形
DY2000A1023		1個用横形
DY2000A2023		2個用横形、アウトレットボックス取付
DY2000A2024		2個用横形、スイッチボックス取付
DY2000A3022		3個用横形
DY2000A1021		配管接続形サーモプレート
DY2000A2021	2個用横形	
DY2000A3021	3個用横形	
TY1100Z	マルチサーモケース	—
83104506-020	養生カバー	10個入り

## ■ 仕様

## ● 室内用湿度センサ

項目	仕様
計測範囲	0~100%RH
検出精度	±3%RH (20~80%RH、15~35℃)
出力信号	DC1~5V (0~100%RHに対し、リニア)、相手側入力インピーダンス50kΩ以上
時定数	40秒以内 (周囲風速0.15m/s)

## ● 室内用温湿度センサ

項目		仕様	
計測範囲	温度	0~50℃	
	湿度	0~100%RH	
検出精度	温度	抵抗出力 (Pt100、3導線式)	±0.3℃ (0~50℃) (注記) 印加電流: 1mA、風速: 0.15m/sダウンフロー 抵抗素子の許容差クラスはF0.15 (JIS C 1604)
		電圧出力 (1~5V)	±0.3℃ (15~35℃) ±0.4℃ (0~15℃、35℃~50℃) (注記) 風速: 0.15m/sダウンフロー 抵抗素子の許容差クラスはF0.15 (JIS C 1604)
	湿度	±3%RH (20~80%RH、15~35℃)	
出力信号	温度	抵抗出力 (Pt100、3導線式)	100Ω/0℃ (JIS C 1604 規準抵抗値)
		電圧出力 (1~5V)	DC1~5V (0~50℃に対し、リニア)、相手側入力インピーダンス50kΩ以上
	湿度	DC1~5V (0~100%RHに対し、リニア)、相手側入力インピーダンス50kΩ以上	
時定数	温度	4分30秒以内 (周囲風速0.15m/s)	
	湿度	40秒以内 (周囲風速0.15m/s)	

## ● 共通仕様

項目		仕様			
電源電圧		AC24V -15~+10% (周波数: 50/60Hz) DC24V ±10%			
消費電力		AC24V時: 1.0VA 以下 DC24V時: 200mW 以下			
絶縁抵抗		DC500V、20MΩ以上 (ケース-端子間)			
耐電圧		AC500V、1分間印加時、漏れ電流1mA以下 (ケース-端子間)			
環境条件	温度計測時	周囲温度	定格動作条件 0~50℃	限界動作条件 0~60℃	輸送・保管条件 -20~70℃
		周囲湿度	0~90%RH (結露なきこと)	0~100%RH (結露なきこと)	5~95%RH (結露なきこと) (60°Ctd以下)
	湿度計測時	周囲温度	15~35℃	0~60℃	-20~70℃
		周囲湿度	20~80%RH (結露なきこと)	0~100%RH (結露なきこと)	5~95%RH (結露なきこと) (60°Ctd以下)
	振動	1.96m/s <sup>2</sup> 以下 (10~150Hz)		9.8m/s <sup>2</sup> 以下 (10~150Hz)	
	風速	0.1~0.5m/s	0~5m/s	-	
色	カバー・ベース	ペールグレー (日本塗料工業会 BN-85 (2003年度版))			
主要部材質	カバー・ベース	ポリカーボネート樹脂 (製品外部に電気亜鉛めっき不使用)			
質量	約110g				
接続	リード線接続 リード線長300mm (断面積 0.75mm <sup>2</sup> )				

■ 外形寸法

● 本体

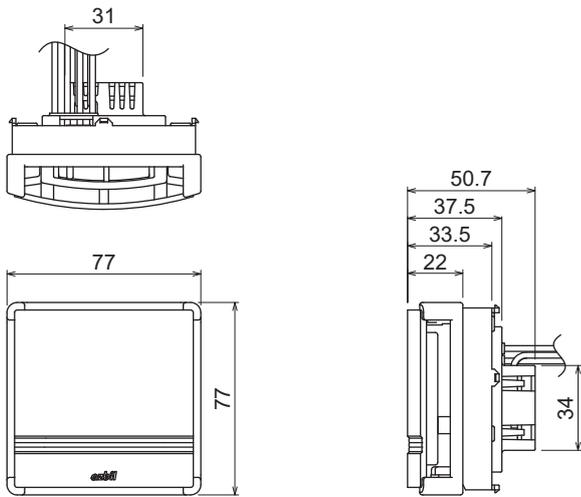


図1 本体の寸法図 (mm)

● 本体とサーモプレート取付キット

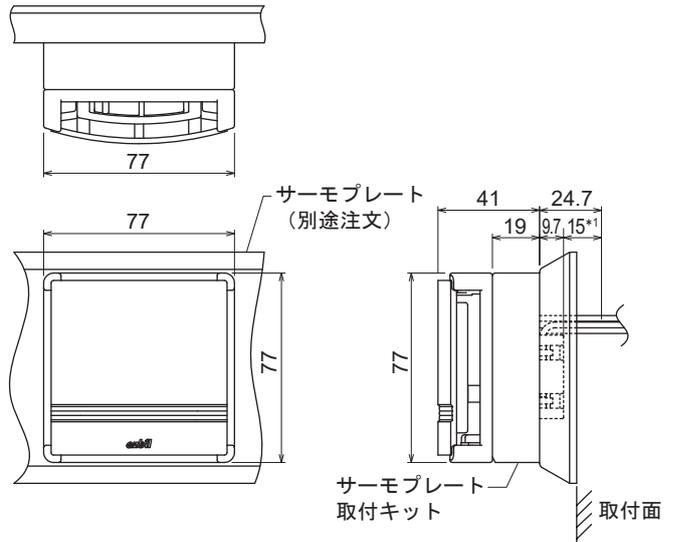


図4 サーモプレート取付キット装着時の寸法図 (mm)

● 本体と壁直接取付キット

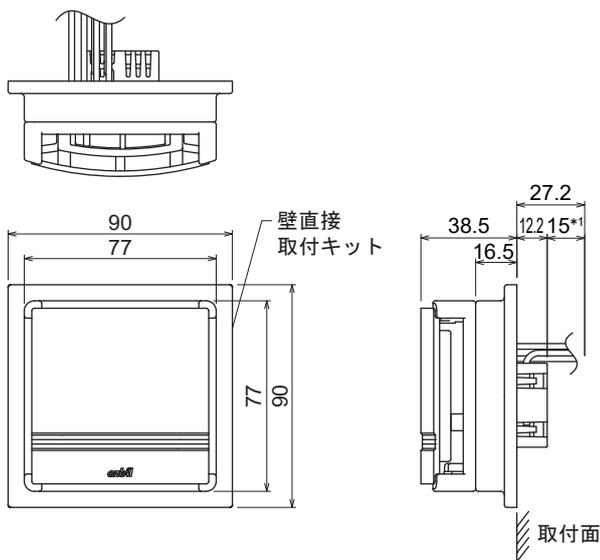


図2 壁直接取付キット装着時の寸法図 (mm)

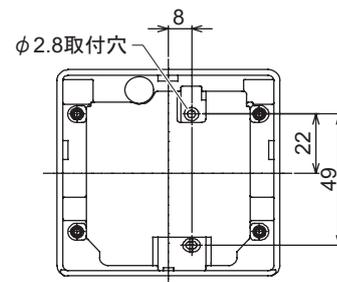


図5 サーモプレート取付キットの取付表面寸法図 (mm)

- \*1 取付施工時は、配線スペースを本体背面から壁内に15mm以上確保してください。
- \*2 JISアウトレットボックス/ボックスカバー使用66.7mm取付寸法 (JIS C 8340 (1999) )

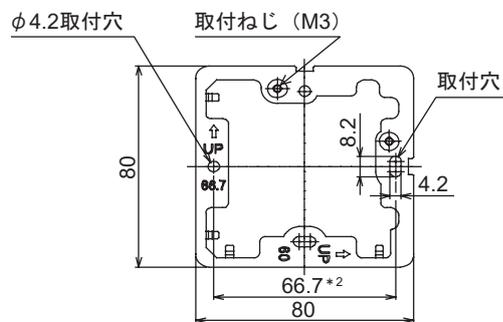


図3 取付プレート寸法表面図 (mm)

### ● 本体とマルチサーモケース取付キット

本体ユニットは、ネオセンサのカバーを外したものです。

マルチサーモケース（別途手配品）に取り付けるときは、本体のカバーを使用しません。

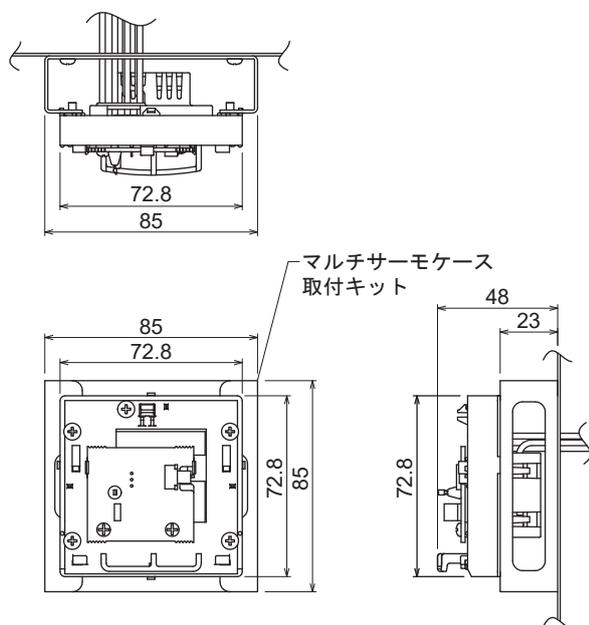


図6 マルチサーモケース取付キット装着時の寸法図 (mm)

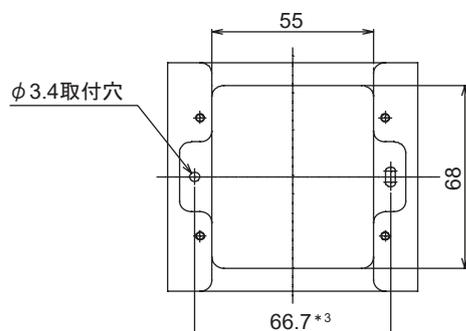


図7 マルチサーモケース取付キット表面寸法図 (mm)

\*3 マルチサーモケースの機器取付板と組付寸法

## ■ 取付

本製品の取り付けには、計装工事、電気工事などの専門の技術が必要とします。専門の技術を有する人が本説明をお読みください。

### ⚠ 注意



本製品は、本説明書に記載された仕様範囲内で取り付けしてください。火災や故障のおそれがあります。



取り付けは、計装工事、電気工事などの専門の技術を有する人が行ってください。施工を誤ると、火災や感電のおそれがあります。

### ● 取付場所

- 重要!!** ● センサの取付場所は、制御に関する重要な要因のひとつです。十分に検討のうえ、取付場所を決めてください。
- 本製品を次のような特殊な環境で使用する場合は、弊社担当者にご相談ください。
  - 有機溶剤などの薬品雰囲気では、出力値がシフトするおそれがあります。
  - 腐食性ガスや有機溶剤などの被測定気体の成分が、測定誤差や製品寿命の短縮、故障の原因となることがあります。

本製品は、次のような壁面に取り付けてください。

- 居住空間の平均的な温湿度を示す（目安：床上約1.5m）ところ。
- 周囲の風速は、0.1～0.5m/s程度のところ。
- 前面にメンテナンスできるスペースのあるところ。

### ● 取付禁止場所

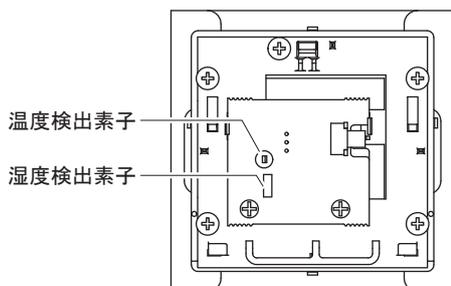
本製品は、次のような壁面に取り付けないでください。

- OA機器の発熱などによる熱のふきだまりがあるところ。
- 家具やドアなどにより、空気の循環が妨げられるところ。
- すき間風、吹き降ろし、水管やダクトからの冷風、または温風の影響を受けるところ。
- 外気や日射の影響を受けやすいところ。
- 振動のあるところ。
- 本製品が結露するようなところ。
- 本製品に水滴が滴下するようなところ。

- 腐食性ガスや有機溶剤などの薬品雰囲気があるところ。
- 薬品や油が付着するようなどころ。  
付着した場合は、速やかに拭き取ってください。  
付着したままにすると、ケースにケミカルクラックが発生するおそれがあります。
- 室内設置以外の用途（外気、ダクト内には使用しないこと）。
- 天井面への直接水平取付。

### ● 施工時の注意

**重要!!** ●カバーの着脱、取り付け時および本体ユニット取り付け時は、プリント基板上の温度・湿度検出素子（図8）に接触しないように十分注意してください。  
精度が狂う原因になります。



（注記） 温湿度センサを例に図示しています。  
湿度センサの場合は、湿度検出素子のみとなります。

図8 温度・湿度検出素子

- 用途に合わせた別途手配品の専用取付キットを使用してください。
- 本体内部に切り粉や電線くずが入らないようにしてください。
- 施工時は、取り付け面と本体との間にケーブルを挟み込まないようにしてください。
- カバー取り付け時は、温度・湿度検出素子を破損させないように注意してください。
- 天井面以外でも水平取り付け時には、十分な周囲風速が得られないおそれがあるので、注意してください。
- 壁内のアウトレットボックスなどからセンサ裏面に空気の流入がある場合は、シール材などを使用し、空気の流れが発生しないようにしてください。
- 設置後、センサを周囲の雰囲気になじませてください。

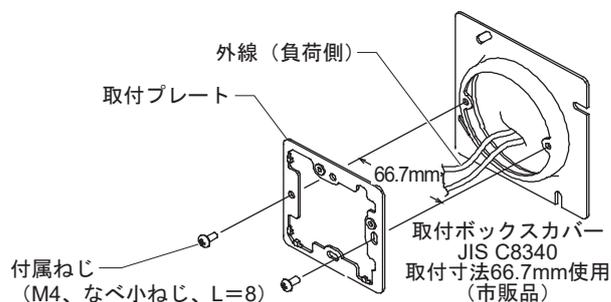
### ● 取付手順

本製品の取り付けには、壁直接取付、配管接続形サーモプレート取付、サーモプレート取付、マルチサーモケース取付があります。

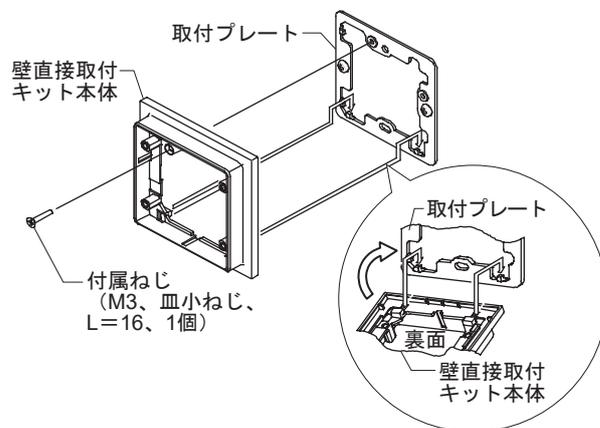
**重要!!** ●取り付ける壁には、取付ボックスカバーのねじ穴が見えるように穴を開けてください。  
推奨寸法はφ68+2mmです。  
十分な大きさが無い場合は、センサの後方部分が壁内に収まらないことがあります。

#### 《壁直接取付》

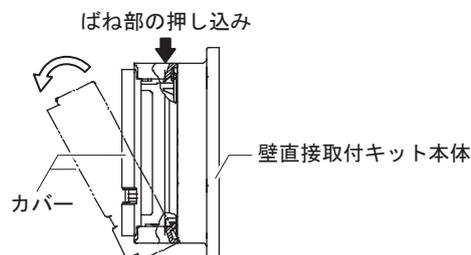
- （1）取付プレートを壁内の取付ボックスカバー（JIS C8340:1999アウトレットボックス用取付寸法66.7mm）に取り付けます。  
付属ねじ（M4 なべ小ねじ L=8 2個）使用



- （2）壁直接取付キット本体を取付プレートに取り付けます。  
付属ねじ（M3 皿小ねじ L=16 1個）使用

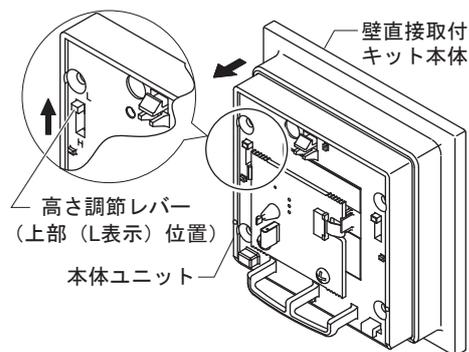


- （3）本体ユニットの出力リード線と外線（負荷側）を接続します。  
（参照）『■結線 図17、18』
- （4）本体のカバーを外します。  
本体上面内部のばね部を細棒などにより押し込んで、外してください。



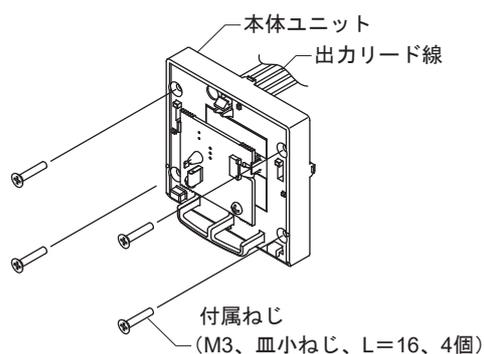
**重要!!** ●カバーの着脱、取り付け時および本体ユニット取り付け時は、プリント基板上の温度・湿度検出素子（図8）に接触しないように十分注意してください。  
精度が狂う原因になります。

- (5) 本体ユニットの左右高さ調節レバーの位置を上部（L位置）に設定します。

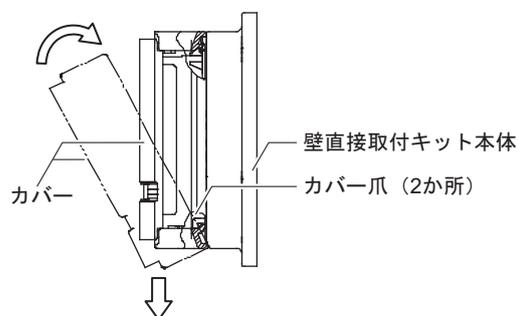


- (6) 本体ユニットを壁直接取付キット本体に取り付けます。

付属ねじ（M3 皿小ねじ L=16 4個）使用

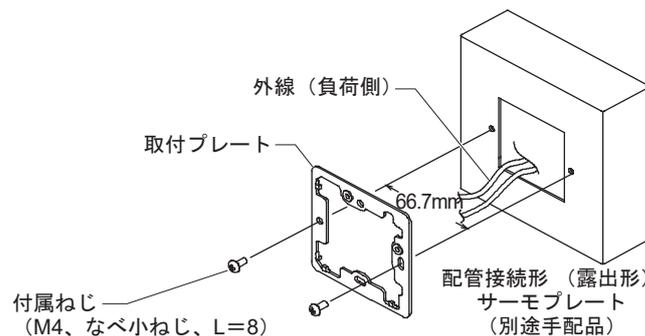


- (7) カバーを本体ユニットに、はめ込みます。本体ユニット下部にあるカバー取付穴（2か所）にカバー爪（2か所）を差し込んで、本体ユニット上部のばね部で固定してください。

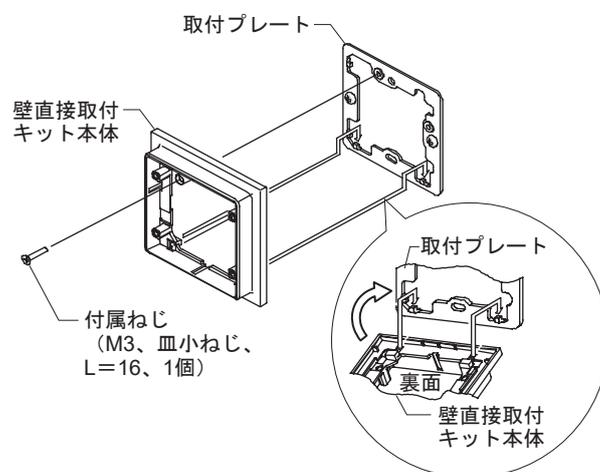


## 《配管接続形サーモプレート取付》

- (1) 取付プレートを配管接続形サーモプレートに取り付けます。



- (2) 壁直接取付キット本体を取付プレートに取り付けます。



- (3) 本体ユニットの出カリード線と外線（負荷側）を接続します。

（参照）『■結線 図17、18』

- (4) 本体のカバーを外します。  
（参照）『《壁直接取付》手順(4)』

- (5) 本体ユニットの左右高さ調節レバーの位置を上部（L位置）に設定します。

（参照）『《壁直接取付》手順(5)』

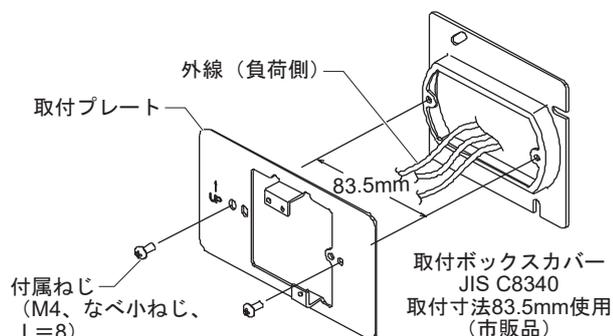
- (6) 本体ユニットを壁直接取付キット本体に取り付けます。

付属ねじ（M3 皿小ねじ L=16 4個）使用。  
（参照）『《壁直接取付》手順(6)』

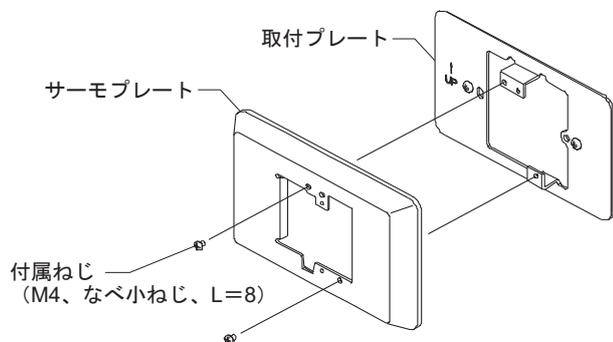
- (7) カバーを本体ユニットに、はめ込みます。  
（参照）『《壁直接取付》手順(7)』

## 《サーモプレート取付》

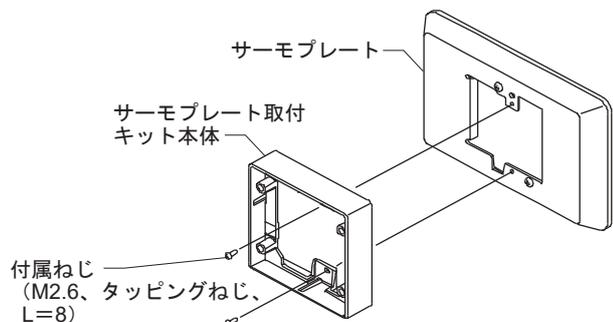
- (1) サーモプレートに付属されている取付プレートを壁内の取付ボックスカバー（JIS C8340:1999 スイッチボックス用取付寸法83.5mm）に取り付けます。



- (2) サーモプレートを取付プレートに取り付けます。



- (3) サーモプレート取付キット本体をサーモプレートに取り付けます。



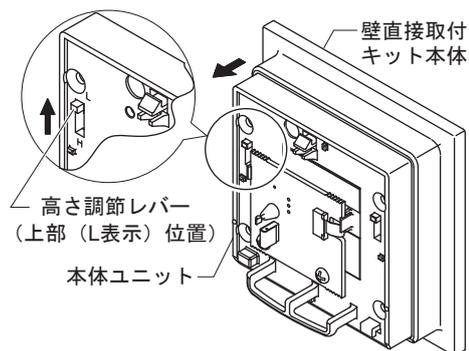
- (4) 本体ユニットの出力リード線と外線（負荷側）を接続します。

（参照）『■結線 図17、18』

- (5) 本体のカバーを外します。

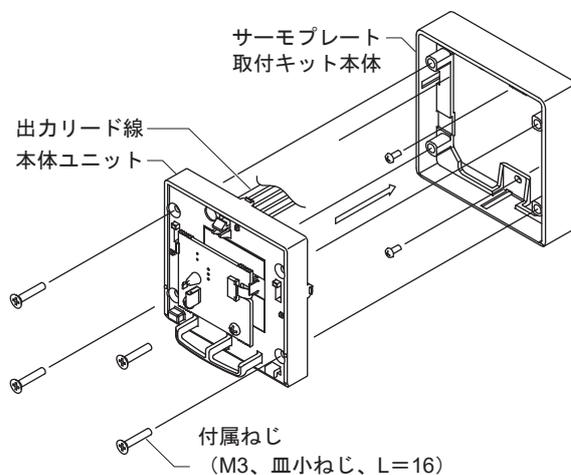
（参照）『《壁直接取付》手順(4)』

- (6) 本体ユニットの左右高さ調節レバーの位置を上部（L位置）に設定します。



- (7) 本体ユニットをサーモプレート取り付けキットに取り付けます。

付属ねじ（M3 皿小ねじ L=16 4個）使用



- (8) カバーを本体ユニットに、はめ込みます。

（参照）『《壁直接取付》手順(7)』

## 《マルチサーモケース取付》

マルチサーモケースに取り付けたときは、本体のカバーを外して使用します。

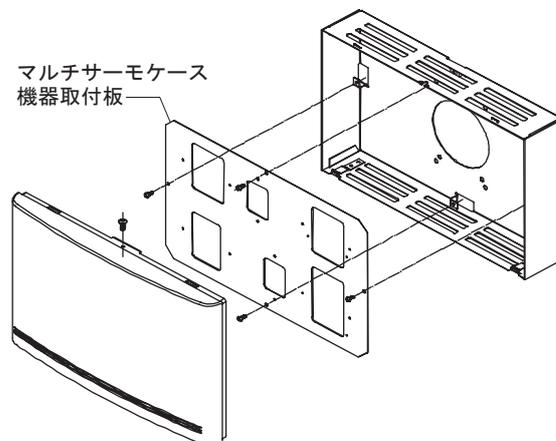
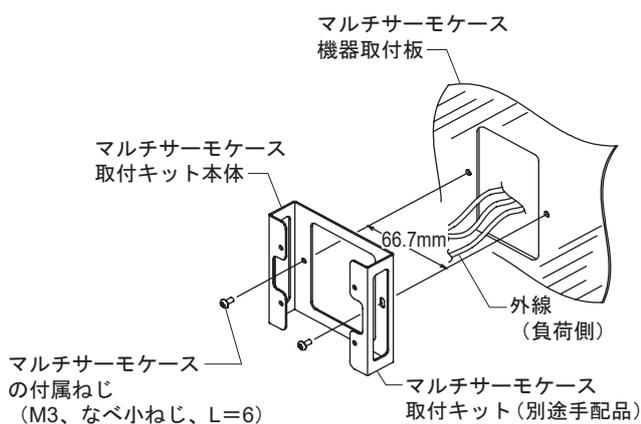


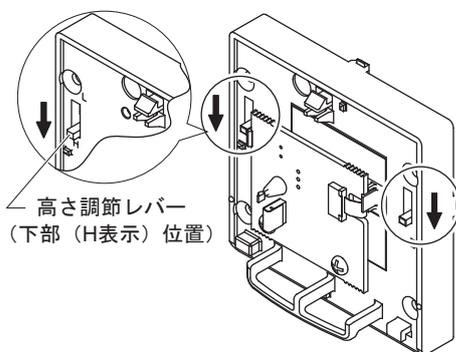
図9 マルチサーモケース

- (1) マルチサーモケース取付キット本体をマルチサーモケースの機器取付板に取り付けます。

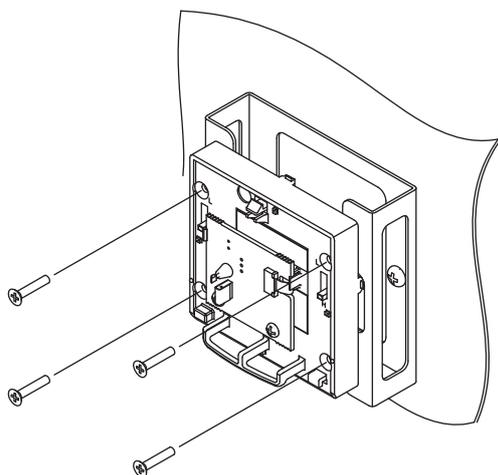


- (2) 本体ユニットの出力リード線と外線（負荷側）を接続します。  
(参照) 『■ 結線 図17、18』
- (3) 本体のカバーを外します。  
(参照) 『《壁直接取付》手順(4)』
- (4) 本体ユニットの左右高さ調整レバーの位置を下部（H位置）に設定します。

**重要!!** •マルチサーモケースに取り付ける場合は、本体ユニットの左右高さ調節レバーの位置を下部（H位置）に設定してください。



- (5) 本体ユニットをマルチサーモケース取付キットに取り付けます。  
付属ねじ（M3 皿小ねじ L=16 4個）使用



### ● 取付壁からの外乱（温熱輻射、伝導など）対策

外乱のある場合は、次の手順で温度・湿度検出素子位置（高さ）を変えて使用できます。

- (1) 取付ねじ4本を外します。

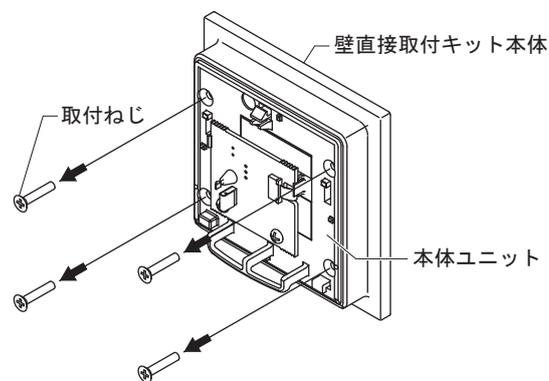


図10

- (2) 本体ユニットを壁直接取付キット本体から引き出します（9mmでます）。

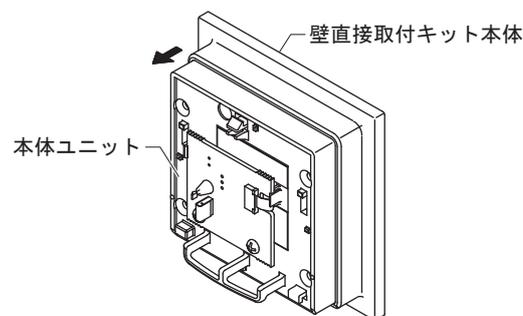


図11

- (3) 左右の高さ調節レバーを下げます。  
\* 出荷時、調節レバーは、上部（L表示）位置です。



- (4) 本体ユニットを壁直接取付キット本体に、取付ねじ4本で取り付けます。

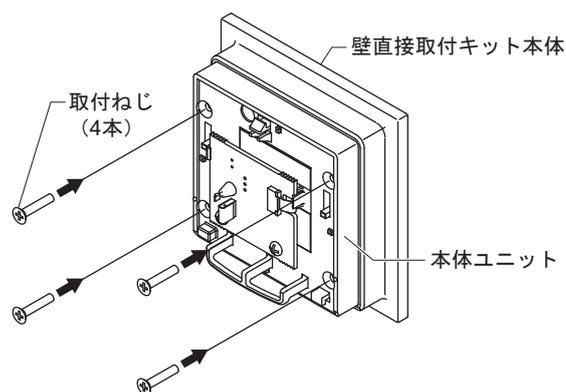


図12

本体ユニットが突き出した状態（図13）が、取り付けの完了です。

（注記）

- 外乱に対する対策効果は、環境により異なります。
- サーモプレート取付の場合も、同様の手順で取り付けをしてください。

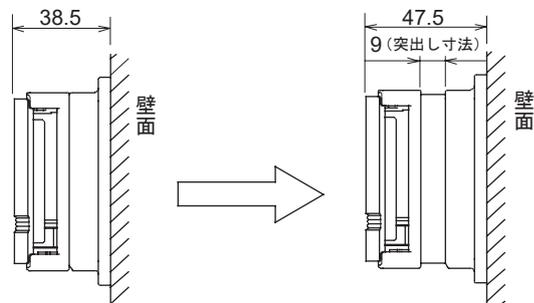


図13

## ■ 結 線

本製品の結線は、計装工事、電気工事などの専門の技術を必要とします。専門の技術を有する人が本説明をお読みください。

### ⚠ 注 意



本製品は、本説明書に記載された仕様範囲内で結線してください。  
火災や故障のおそれがあります。



結線は、計装工事、電気工事などの専門の技術を有する人が行ってください。  
施工を誤ると、火災や感電のおそれがあります。



結線作業は、本製品への電源を切った状態で行ってください。  
感電や故障のおそれがあります。



配線については、電気設備技術基準、内線規程などに従って施工してください。  
施工を誤ると、火災のおそれがあります。

**重要!!** • 結線作業後はカバーを着装してください。  
カバーをしないと正しく計測できない場合があります。

## ● 結線図

### 《リード線出カタイプ》

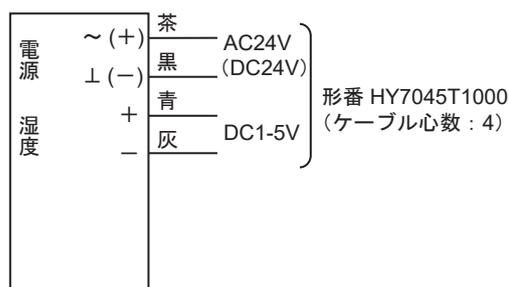


図14 結線図（室内用湿度センサ・AC/DC24V共用電源タイプ）

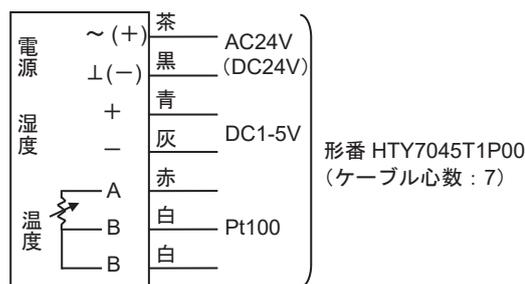


図15 結線図（室内用温湿度センサ・AC/DC24V共用電源タイプ）

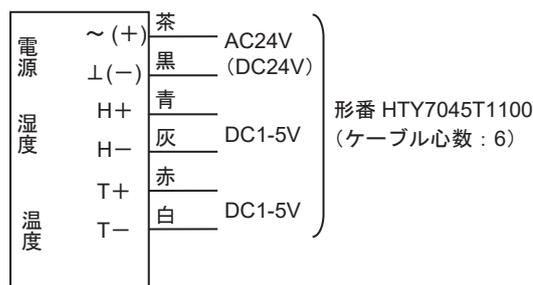


図16 結線図（室内用温湿度センサ・AC/DC24V共用電源タイプ・  
温度出力：DC1-5Vタイプ）

## ● 配線上の注意

**重要!!** • 温度、湿度の出力線に電源をつながないでください。  
発煙・焼損・故障のおそれがあります。  
• 他の製品とのAC24Vトランス共用は、しないでください。

電源線および温湿度出力線には、 $1.25\text{mm}^2$ 以上のシールド多心ケーブル（CVV-S）を推奨します。  
電源線および温度出力線には、 $1.25\text{mm}^2$ 以上のIV線の使用もできます。シールドは、コントローラ側で接地してください。  
最大配線長は、100mです。  
配線長は、接続先コントローラの『仕様・取扱説明書』を確認してください。

● 電源配線方法

⚠ 注意



電線の末端は、絶縁被覆付き圧着端子を使用してください。  
絶縁被覆がないと、短絡して火災や故障のおそれがあります。

本製品は、次のように接続してください。

《本製品を新規に設置する場合》

● DC電源

重要!! ●DC24V電源は、共用できます。  
ただし、①茶 (+) -②茶 (+)、①黒 (-) -②黒 (-) を『図17』に示すとおりに配線してください。

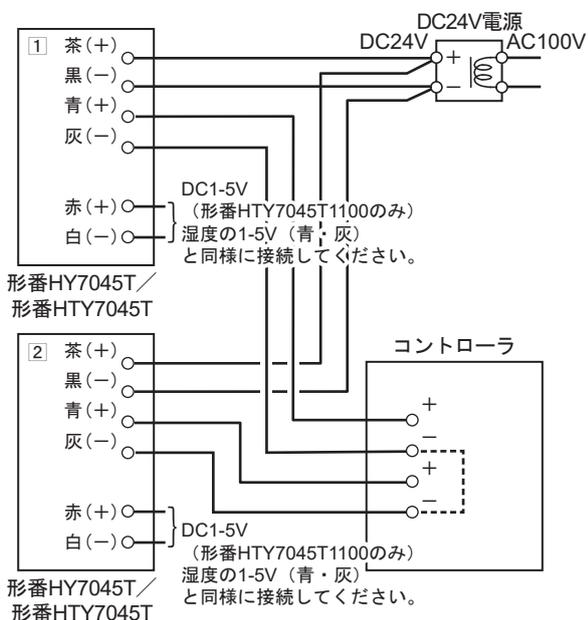


図17

● ACトランス (AC24V電源)

重要!! ●ACトランス (AC24V電源) は、共用できません。  
本製品と同数のACトランス (AC24V電源) が必要です。

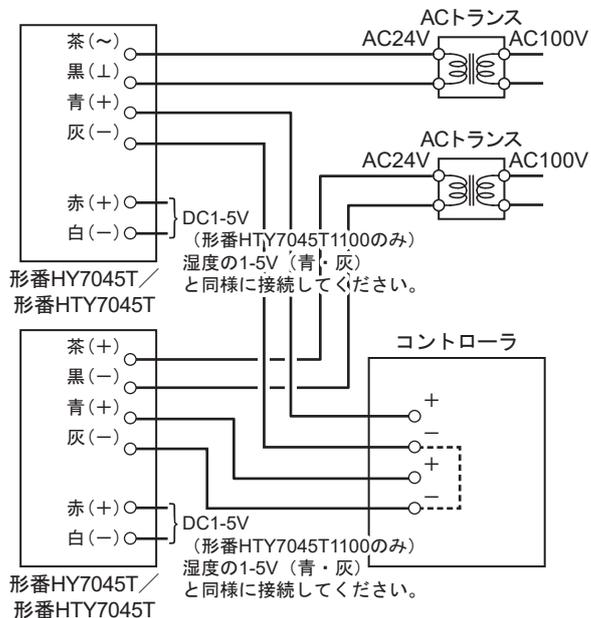


図18

《既設製品からの置き換えの場合》

**重要!!** ●本製品を複数台使用する場合は、本製品と同数のACトランス（AC24V電源）が必要です。  
AC24Vトランスを共用しないでください。

既設製品から本製品に置き換える場合（既設センサとの混在含む）、ACトランス（AC24V電源）を共用しているかどうか、確認してください。

（注記）DC電源については、新規に設置する場合と同様です（図17）。

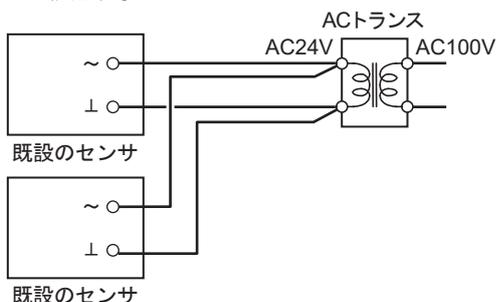


図19 置き換え前の配線

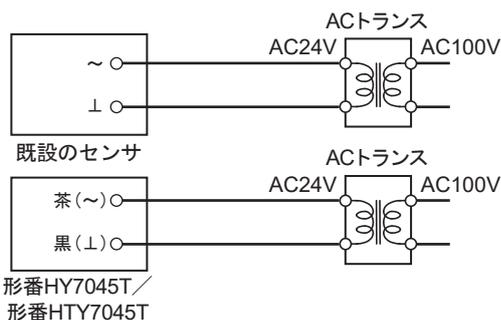


図20 置き換え後の配線

**注意**



結線作業後、カバーを元に戻してください。  
カバーをしないと、感電のおそれがあります。

**重要!!** ●給電前に配線を確認してください。  
●本製品に定格以上の電圧を印加した場合は、安全のため新品に交換してください。

●電源配線上の注意

ACトランス（AC24V電源）を介して本製品に電源を供給する場合は、次の注意事項を守ってください。

**重要!!** ●コントローラの（-）が非絶縁型の場合は、湿度センサ、温湿度センサ用のACトランス（AC24V電源）を共用した配線をしないでください。

- ACトランス（AC24V電源）を共用すると回路内にループができ、故障の原因となります。

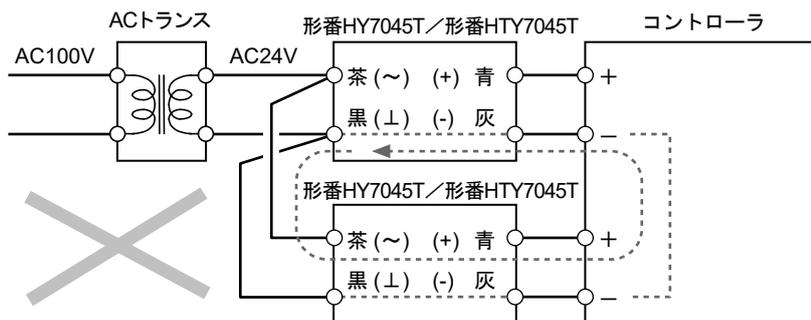


図21 回路内にループができた場合

- ACトランス（AC24V電源）を共用し、さらに、**①**の茶（～）－**②**の黒（⊥）、**②**の茶（～）－**①**の黒（⊥）と誤配線した場合は、コモンを通じて内部回路がショートし、故障の原因となります。

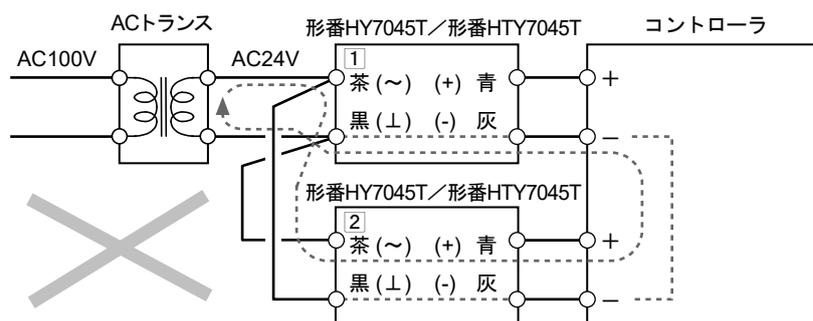


図22 誤配線した場合

### ● その他信号に関する注意事項

湿度センサ、温湿度センサからコントローラの入力回路に誘導電流が流れたり、コントローラの時定数の不足のために、ノイズの影響がでることがあります。

ノイズを押さえるために、次の点を確認してください。

- 受信側のコントローラにノイズ除去比40dB以上（ノーマルモード）のローパスフィルタが入っている製品を使用してください。
- ノイズ除去比が不足する場合は、コントローラの入力にアイソレータを入れてください。弊社のコントローラと接続する場合は、問題ありません。

**重要!!** ● 製品故障時、出力低下により過加湿状態となる場合があります。

コントローラ側で安全対策をしてください。

- 腐食性ガスや有機溶剤などの被測定気体の成分が測定誤差や製品寿命の短縮、故障の原因になることがあります。

本製品を通常の空気と異なる環境で使用する場合は、弊社担当者にご相談ください。

### ■ 取 扱

- 本製品の近くに熱や蒸気が発生する機器（OA機器や加湿器など）を設置しないでください。
- 結線が正しく行われていることを再度確認してください。

### ■ 保 守

**重要!!** ● 本製品を分解しないでください。故障の原因になります。

温湿度センサは工場出荷時に検査され、精度調整されています。

設置場所での調整は、不要です。

次の各項に従い、点検をしてください。

### ● 定期点検

空気中の塵埃の量、汚れの状況により期間を定めて、検出精度を確認します。

カバーの目詰まりを点検、清掃してください。

### ⚠ 注 意



保守作業後、カバーを元に戻してください。  
カバーをしないと、感電のおそれがあります。

## ● 異常状態と点検および処置

『表1』に従って状態を点検し、異常状態であれば必要な処置をしてください。  
処置を行っても同じ状態が続く場合には、弊社担当者に連絡してください。

表1 異常状態と点検・処置

異常状態	点 検	処 置
出力がでない 出力がふらつく	結線の断線	結線を作り直す
	電源電圧	本資料に記載された電源電圧を確保する
	センサ本体の破損	製品を交換する
誤差がある	設置場所・環境	本資料に記載された設置場所・環境を確保する
	センサ本体の汚れや破損	製品を交換する

## ● 養生

動物飼育室や手術室などに取り付けられている場合は、その室内を消毒する際、本製品に養生カバー（別途手配品）を着けてください。

- 養生カバーは、消毒液が乾燥してから外してください。  
ケースに消毒液が付着すると、ケミカルクラックが発生するおそれがあります。
- 養生カバーを外すときは、ゆっくりとまっすぐに外してください。  
上下左右に過度な力を加えたり、急激に引き抜いたりすると、養生カバーを固定している爪が破損することがあります。

## ■ 廃 棄

本製品が不用になったときは、産業廃棄物として各地方自治体の条例に従って適切に処理してください。  
また、本製品の一部または全部を再利用しないでください。

**CE** 本製品は、以下のElectromagnetic Compatibility Directive (EMCD) に適合しています。  
EMCD : EN 61326-1 Class B, Table 1 (for use in a basic electromagnetic environment)

\* ネオセンサは、アズビル株式会社の商標です。

アズビル株式会社 ビルシステムカンパニー

**azbil**

[ご注意] この資料の記載内容は、予告なく変更する  
場合もありますのでご了承ください。

ご用命は、下記または弊社事業所までお願いします。

お問い合わせは、コールセンターへ

**0120-261023**

<https://www.azbil.com/jp/>